

2017年4月1日付人事異動における女性管理職の登用状況等について

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、女性管理職登用について、管理職に占める女性の割合を2017年4月までに20%に引き上げることを数値目標に掲げ、女性管理職の計画的かつ継続的な登用に向けて取り組んでまいりました。意欲と能力のある女性職員の管理職登用を積極的に推進した結果、2017年4月1日時点で、21.2%となり数値目標を達成いたしました。

2017年4月からの3カ年プログラム「MYイノベーション2020」では、管理職に占める女性の割合を2020年4月までに30%程度とすることを視野に、「多様性受容と活躍支援（ダイバーシティ&インクルージョン推進）」を重点領域に定め、当社人財の「一人ひとりが誇りとやりがいを感じながら生き活きとチャレンジングに働く状態（ワーク・エンゲイジメント）の実現」をめざし、より積極的かつ能動的な取組みを展開してまいります。

1. 女性職員の管理職等登用状況

(1) 管理職登用比率および登用者数

2017年4月1日時点での管理職（部長相当職、課長相当職）に占める女性職員の割合は21.2%（前年差3.3ポイント増）となり、合計262人となりました。

	2016年4月		2017年4月
女性管理職比率	17.9%	➔	21.2%
女性管理職登用者数	212人		262人

(2) 女性経営管理職（部長相当職）および女性管理職（課長相当職）の登用状況

経営管理職（部長相当職）については、新たに3人の女性職員を名古屋マーケット開発部長、大阪事務サービスセンター長、ダイバーシティ推進室長に登用した結果、合計6人となりました。また、管理職（課長相当職）については、前年差48人増と大幅に増加し、合計256人となりました。

	2016年4月		2017年4月
女性経営管理職（部長相当職）	4人	➔	6人
女性管理職（課長相当職）	208人		256人

※女性役員は、2017年4月時点で2人

2. アソシエイト職から総合職への移行

意欲と能力のある職員への幅広い活躍機会の提供を目的に、2015年4月から職種を段階的に「総合職（全国型）」「総合職（地域型）」に再編・統合してまいりましたが、2017年4月1日付で、すべてのアソシエイト職（旧一般職）約2,000人が総合職（地域型）に移行し、職種の再編・統合が完了しました。これにより、能力・適性に応じ経営管理職を含むより幅広い職制・職務での活躍が可能となる環境を整備いたしました。